

# 簡易な収入(所得)見込額の申立書 【家計急変世帯】

記入例

○「電力・ガス・食料」

① 下記にチェック

私の世帯は、

**【1】令和4年1月から12月までに予期せず家計が急変し、収入が減少した場合**  
**✓を記入して下さい。収入の減少が定年退職等のあらかじめ予期されるものである場合、本給付金の対象とはなりません。**

(記入上の注意)

「予期せず家計が急変」したことは、定年退職による収入の減少や、年金が支給されない月や事業活動に季節性があるもの等の通常収入が得られない月の収入等、当該月に収入がないことがあらかじめ明らかであるものは該当しません。

② 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した全ての方の状況を記載して下さい。

**【3】左欄の方が扶養する人数(扶養控除等申告書等に記載の人数)を記入してください。**

氏名	者の数	課税 <input type="checkbox"/> 課税 <input checked="" type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	適用 <input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和4年 10月	収入合計額 A+B+C= [D]			⑥	⑦
					[A]	不動産収入 [B]	[C]		
リンダ タロウ 臨時 太郎	1	<input checked="" type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和4年 10月	収入合計額 A+B+C= [D] 50,000 円	180,000 円	0 円	2,160,000 円	1,480,000 円
リンダ ハナコ 臨時 花子	0	<input type="checkbox"/> 課税 <input checked="" type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和4年 10月	収入合計額 A+B+C= [D] 0 円	0 円	0 円	0 円	970,000 円
		<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和4年	収入合計額 A+B+C= [D]				

**【4】下表から、この人数に対応する区分の非課税相当収入限度額を確認。**

**【6】金額を比較して⑥欄の方が低ければ支給対象となります。(裏面は記入不要)**  
**この例の場合は⑥欄の方が高いため、所得による申請となります。裏面を記入してください。**

(記入上の注意)

- ① 「左欄の者が扶養する者の数」欄には、同居・別居にかかわらず、左欄の者が扶養している親族の数を記入して下さい。(扶養控除等申告書で届け出ている人数)
- ② 「令和4年度住民税課税状況」欄は、該当する項目にチェックしてください。
- ③ 「障害者控除等の適用」欄は、該当する控除を受けている場合には、チェックしてください。
- ④ 「収入の減少のあった年月」欄には、住民税非課税相当の収入であった令和4年1月から令和4年12月までの任意の1か月の月を記入してください。
- ⑤ 「任意の1か月の収入」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和4年1月から令和4年12月までの任意の1か月の収入を記入してください。

給与収入	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類の写し(コピー)をご提出ください。
事業収入又は不動産収入	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類の写し(コピー)をご提出ください。
年金収入	※公的年金収入(非課税除く)がある場合にご記入ください。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの

**【5】金額を⑦欄に記入してください。**

- ⑥ 「年間収入見込額」欄には、D欄(収入合計額)を12倍した金額を記入してください。
- ⑦ 「非課税相当収入限度額」欄には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当収入限度額を記入してください。

### ◆泉佐野市における非課税相当限度額(収入額ベース)

扶養している親族の状況	非課税相当収入限度額
単身又は扶養親族がない場合	97万円 以下
配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合	148万円 以下
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	190万4千円 未満
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	236万円 未満
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	281万6千円 未満
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	204万4千円 未満

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

※これ以降は、⑥の額が表面⑦の額より高く、給与収入以外の収入がある世帯員について記入してください。

氏名	【収入】 年間収入見込額 ⑥	【控除】			【所得見込】 年間所得見込額 ⑪	【非課税相当額】 非課税所得限度額 ⑫
		給与所得控除額 ⑧	事業収入等の経費 ⑨	公的年金等控除 ⑩		
リンジ タロウ 臨時 太郎	2,160,000		1,260,000		⑥ - (⑧+⑨+⑩) 900,000	930,000
					⑥ - (⑧+⑨+⑩)	
					⑥ - (⑧+⑨+⑩)	
					⑥ - (⑧+⑨+⑩)	
					⑥ - (⑧+⑨+⑩)	

【7】表面の年間収入見込額  
(表面⑥欄)を転記してください。

【8】下記の(記入上の注意)を見て、  
各欄に該当する控除額を記入してください。

【9】年間所得見込額⑪を計算してください。  
年間所得見込⑪ = 年間収入見込額⑥ - (給与所得控除額⑧ + 事業収入等の経費⑨ + 公的年金等控除⑩)

(記入上の注意)

⑥「年間収入見込額」欄には、表面の年間収入見込額(⑦)を記入してください。

⑧「給与所得控除額」欄には、以下の算定式により控除額を計算の上、ご記入ください。

- |                                |                                   |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| ①A×12の額(給与収入分)が162.5万円以下       | → 55万円(給与収入額が55万円未満の場合は、その収入額的全額) |
| ②A×12の額(給与収入分)が162.5万円超180万円以下 | → 給与収入分×40% - 10万円                |
| ③A×12の額(給与収入分)が180万円超360万円以下   | → 給与収入分×30% + 8万円                 |
| ④A×12の額(給与収入分)が360万円超660万円以下   | → 給与収入分×20% + 44万円                |

⑨「事業収入等の経費」

- ①事業収入又は不動産収入を記入した方は、当該収入のために要した経費の12か月相当額をご記入ください  
②帳簿等の上記の経費がわかる書類をご提出ください。

⑩「公的年金等控除」の欄には、以下の算定式により控除額を計算の上、ご記入ください。

- |           |                  |                          |
|-----------|------------------|--------------------------|
| (65歳未満の方) | 公的年金等収入分         | → 控除額                    |
|           | : 60万円以下         | → 公的年金等収入分的全額            |
|           | : 60万円超130万円未満   | → 60万円                   |
|           | : 130万円以上410万円未満 | → 公的年金等収入分×0.25 + 27万5千円 |
|           | : 410万円以上770万円未満 | → 公的年金等収入分×0.15 + 68万5千円 |
| (65歳以上の方) | 公的年金等収入分         | → 控除額                    |
|           | : 110万円以下        | → 公的年金等収入分的全額            |
|           | : 110万円超330万円未満  | → 110万円                  |
|           | : 330万円以上410万円未満 | → 公的年金等収入分×0.25 + 27万5千円 |
|           | : 410万円以上770万円未満 | → 公的年金等収入分×0.15 + 68万5千円 |

【10】扶養人数に応じて、該当する金額を記入してください。

⑪「年間所得見込額」の欄には、以下の算定式により計算の上、ご記入ください。

$$\text{⑪年間所得見込額} = \text{⑥年間収入見込額} - (\text{⑧給与所得控除額} + \text{⑨事業収入等の経費} + \text{⑩公的年金等控除})$$

⑫「非課税所得限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当所得限度額を記入してください。

※限度額は下の早見表から、①欄の「左欄の者が扶養する者の数」に応じた状況に対応する欄の金額を記入してください。

※下表の「扶養している親族の状況」は、「申請者本人」「同一生計配偶者(所得金額48万円以下の者)」「扶養親族(16歳未満の者も含む)」の合計人数です。

同一生計配偶者には、青色専従者給与の支払いを受けている者及び事業専従者に該当するものは含めません。

◆泉佐野市における非課税相当限度額(所得額ベース)

扶養している親族の状況	非課税相当所得限度額
単身又は扶養親族がない場合	42万円 以下
配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合	93万円 以下
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	125万円 以下
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	157万円 以下
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	189万円 以下
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	135万円 以下

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用